

実践事例（岡山県）



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

岡山県教育庁高校教育課職業指導班

科目

情報セキュリティ（情報科 1 年次2単位）

取組事例

校内のゾーニングとセキュリティレベルを設定し、
校内図に書き込む

評価

【思考・判断・表現】

- ・適切な設定ができているか。
- ・根拠が示せているか。

実践校

岡山県立玉野光南高等学校



教材

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

情報セキュリティマネジメント試験のテキスト・問題集

単元

第2章 情報セキュリティ対策

第1節 物理的セキュリティ対策

【高等学校学習指導要領（平成30年告示）
解説情報編】

ここでは、情報を扱う場所の入退室管理、盗難や窃視等の防止、機器や装置及び情報媒体などの盗難や紛失防止も含めた物理的な保護及び措置を取り上げ、それぞれの問題と対策に関連した知識と技術を扱う。

授業展開

- 目標 1. 設備に関わるセキュリティ対策を理解する（知識・技術）
目標 2. 校内のセキュリティ対策案を示すことができる（思考・判断・表現）



形態：グループワーク

内容：

- ①校内をゾーニングする
- ②セキュリティレベルを設定する
- ③セキュリティ対策装置を検索し、配置する。

生徒の声

※単元全体の振り返り

- 自分の身近にもセキュリティゲートがあり、身近なセキュリティゲートを考えるとわかりやすかった。
- エリアの分け方や入室管理等の具体的な例がわかった。
実際にどこでどんな風に使われているか、もっと知りたいので、今度お店に行くときには意識してみようと思う。

担当者の声

- 生徒の思考が深まった。
- 不正侵入を行う側と、防ぐ側の両方の立場で思考できた。
- 科目の特性上、不正侵入を行う側の思考が必要になるため、モラルや法律の話に合わせて取り扱うことができた。
 - 校内の機密情報に関しては話せないため、気を遣う場面があった。

評価について

目標 1. 設備に関わるセキュリティ対策を理解する（知識・技術） → **小テスト (Forms)**

目標 2. 校内のセキュリティ対策案を示すことができる（思考・判断・表現） → **ループリック評価**

A	B	C
<p>根拠を示しながら、校内を適切にゾーニングし、セキュリティレベルを設定している。また、セキュリティエリアごとに適切にセキュリティ対策装置を配置している。</p>	<p>校内をゾーニングし、セキュリティレベルを設定している。また、セキュリティエリアごとにセキュリティ対策装置を配置している。</p>	<p>ゾーニング、セキュリティレベル設定、セキュリティ対策装置の配置のいずれかが示せていない。</p>